

南町民センター指定管理者クリーン・ローズの評価 【選定委員総括表】

目的	一般住民の学習、保育、休養及び集会の用に供するために設置された本施設を、地域住民で構成され社会奉仕活動を行う団体たる指定管理者が、その能力を活用しつつ、地域住民等に対する住民サービスの効果及び効率を向上させ、もって地域コミュニティや福祉の一層の増進を図ること
-----------	---

評価対象期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

評価項目		評価視点	評価区分
1	施設の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な施設内外の清掃など利用者が気持ち良く利用できる環境を維持しているか ・定期的な巡回などで、危険箇所や異常を発見した際に、修繕や町への報告が速やかにされているか 	良
2	利用者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の利用にあたり不公平が生じていないか ・利用日・利用時間の遵守が徹底されているか 	良
3	施設運営の経費削減	<ul style="list-style-type: none"> ・不用な電気・水道・電話などの使用を慎み経費削減に努めているか ・効率的な人員配置を行っているか 	良
4	情報の管理・保護	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理によって知り得た秘密や情報を外部に漏らしたり、他の目的に使用していないか ・個人情報に関する書類等の保管・保護が適切になされているか 	良
5	災害時、緊急時に備えた危機管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・開館時に警報が発令された場合、町と連携をとり適切な体制や処置がとれているか ・防災訓練を実施するなど、有事に備えた体制がとれているか ・館内で急病者が出た場合、適切な体制や対応がとれているか 	良
6	地域の各種団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の各種団体との連携により利用の増加を図っているか 	良

【所管課の総合評価】

すべての評価項目について、指定管理者として能力を有していると認める。また、当該団体は本年度3件の自主事業を実施したが、どれも地域での福祉活動を行う団体との連携事業であり、クリーン・ローズの特性が十分に生かされている。利用者の増加につながる自主事業が今後も期待される。

【委員会の意見】

平成30年7月6日開催 平成30年度第1回岐南町指定管理者選定委員会での総評

協定書及び仕様書、事業計画書に基づいた管理運営がなされていると認められ、所管課の評価を基本的に承認する。他の町民センターと比較しても経費削減がなされていることが認められる。また、施設の維持管理のみならず、花壇を整備するなど、利用者が気持ちよく利用できる環境を整えている。さらに、自主事業に関しても社会福祉協議会の協力のもと新規事業を2件立ち上げるなど、地域に根ざして積極的な運営を図ろうとする姿勢は高く評価できる。収支報告について、社会福祉協議会からの補助金やそれにまつわる支出、その他の収支なども含め、すべてを公開するのが本来のあり方である。それらを合算して収支報告することが煩雑・困難であるとすれば、各個の収支(収支報告書が複数存在する状態)として報告しても構わない。今後、検討をお願いしたい。